

はつこうかい あらし なか み うちゅう 初公開！嵐の中のあらせが見た宇宙

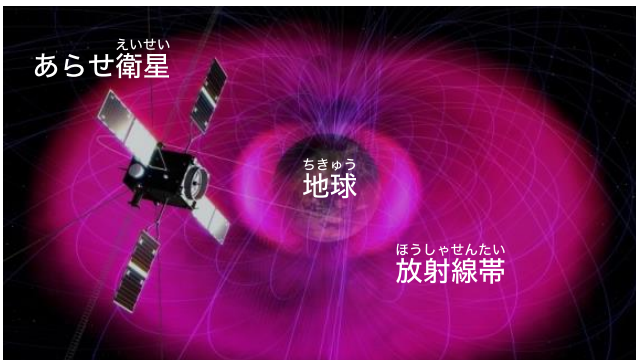
◆ あらせ衛星打ち上げ大成功！



写真提供：北村成寿

2016年12月20日の午後8時、ERG衛星は鹿児島県の内之浦宇宙空間観測所からイプシロンロケット2号機で打ち上げられました。この日の日中の曇り空も、打ち上げ時刻にはすっきり晴れ、打ち上げは大成功。今日も元気に、地球の周りの宇宙を調べています。この科学衛星には「あらせ」という愛称が付けられました。

◆ 放射線帯ってなに？



放射線帯は、地球近くの宇宙で周りよりエネルギーの高い粒子が集まっている場所です。これは、地球の周りをぐるりと取り巻いており、この高いエネルギーの粒子は人工衛星に異常をもたらすことがあります。しかし、放射線帯の高いエネルギーの粒子がどうして生まれるかよくわかっていません。

◆ 宇宙嵐の謎に挑む！

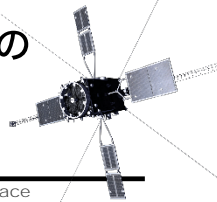
太陽の活動によって地球の近くの宇宙に嵐がもたらされると（宇宙嵐）、放射線帯の高エネルギー粒子の数が増えます。なぜこの変化が起こるのかは、いまでも大きな謎です。あらせ衛星はこの謎に迫るため、宇宙の粒子を測る6つの粒子観測器を搭載しています。また、宇宙の波を測る波動観測器を搭載し、波と粒子の相互作用をS-WPIAで計測します。あらせ衛星は、強い放射線の中をかけぬけ、放射線帯と宇宙嵐の謎を解きあかします。



ERG Project の

関係者から一言

Exploration of energization and Radiation in Geospace



ジオスペース探査衛星（ERG衛星）プロジェクトのプロジェクト・マネージャの篠原 育です。ERG衛星は2016年12月20日午後8時0分0秒（日本時間）に打ち上げられ、「あらせ」という名前がつけました。多くの方々への応援のおかげで衛星は無事に予定通りの観測をはじめることができ、とても元気に素晴らしい観測データを届けてくれています。あらせ衛星は「地球の周りの放射線帯（ヴァン・アレン帯）は、なぜ、どのようにできるのか？」という1958年の発見以来の謎に挑んでいます。放射線帯は目には見えないので、イメージがわきにくいですが、地球のすぐそばの宇宙空間で起こっている不思議な現象を通して、私たちの地球と太陽の繋がりを感じたり、「宇宙空間」という世界の面白さに興味を持っていただけたら、私たちプロジェクトにとってうれしい限りです。

◇ もっと詳しく知りたい人のために
http://www.jaxa.jp/projects/sat/erg/index_j.html